

南市民ホールについてのアンケート

◆相模原市では、

- ① 少子高齢化に伴う社会保障経費の増加(R4年990億円→R9年1067億円)
- ② 公共施設の老朽化による改修経費の著しい増加(R4年59億円→R9年200億円)
が見込まれる中であっても
持続可能な行財政運営を行うため、「行財政構造改革プラン」を策定し、
様々な事業の見直しをしています。

◆南市民ホールの廃止案

この見直しに基づき、南市民ホールについては、老朽化に伴う改修経費や利用率などの観点から、令和6年9月末に廃止する方針案としています。
※改修経費は6億円以上 ※利用率は概ね60%で推移
この案について皆様のご意見をお聞かせください。

1 南市民ホールの場所をご存知ですか



A B C わからない

2 南市民ホールの廃止案をどう思いますか。 (最も近いものを1つお選びください)

A 南市民ホールを残すべき

利用しているから	使いやすいから (場所・料金・客席数等)	文化振興・地域活性化 に必要だから	その他

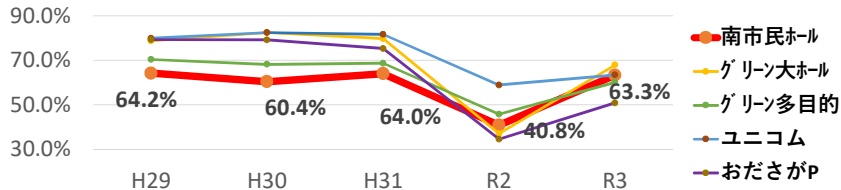
B 廃止もやむを得ない

利用していないから	他にもホールがある から	財政上やむを得ない から	その他

C わからない・どちらともいえない

名称	相模原南市民ホール			
所在地	南区相模大野5-31-1（南区合同庁舎内）			
延床面積	1,265㎡	収容人員	400人	建築年度 昭和58年（築39年）
利用料金（1日）	平日47,300円、休日61,400円 ※平日直前割引：午前2,125円、午後4,200円 （利用日15日前～3日前まで75%割引。H31開始）			

南区内類似施設の利用率



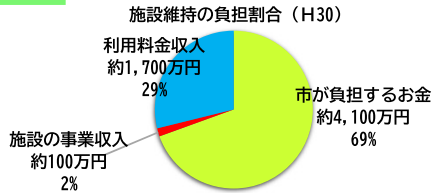
◆南市民ホールは新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたR2年以外は概ね60%前半で推移

施設・設備の老朽化が進行

築39年の南市民ホールでは施設・設備の老朽化が進行しており、照明、天井、舞台設備などの更新に**3億円**、躯体や配管の大規模改修にさらに**3億円以上**、**合計6億円以上**の老朽化対策経費がかかる見込みです。

施設の管理・運営

南市民ホールは市に代わって民間事業者が管理運営しています。利用料金だけでは管理運営できないため、市は税金から民間事業者にお金を支払っています。



行財政改革のため見直し対象としている施設

行財政構造改革プランでは、次の施設などを見直しの対象としています。

- ・文化施設（南市民ホール）
- ・窓口等（連絡所 パスポートセンター）
- ・スポーツ施設（銀河アリーナ 市体育館 牧郷体育館）

市内の主なホールや類似施設

No.	施設名	部屋の名称	定員
1	杜のホールはしもと	ホール	535
		多目的室	200
2	もみじホール城山	多目的ホール	298
3	サン・エールさがみはら	ホール	350
4	市民会館	ホール (小ホールで使用时)	1,270 (799)
5	あじさい会館	ホール	358
6	産業会館	多目的ホール	208
7	相模女子大学グリーンホール	大ホール (客席を区切った場合)	1,790 (1,240)
		多目的ホール	240
		リハーサル室	80
8	南市民ホール	ホール	400
9	ユニコムプラザさがみはら	セミナールーム1・2	192
10	おださがプラザ	多目的ルームA B C	175

